

## 木材の品質についてもっと簡単に教えて

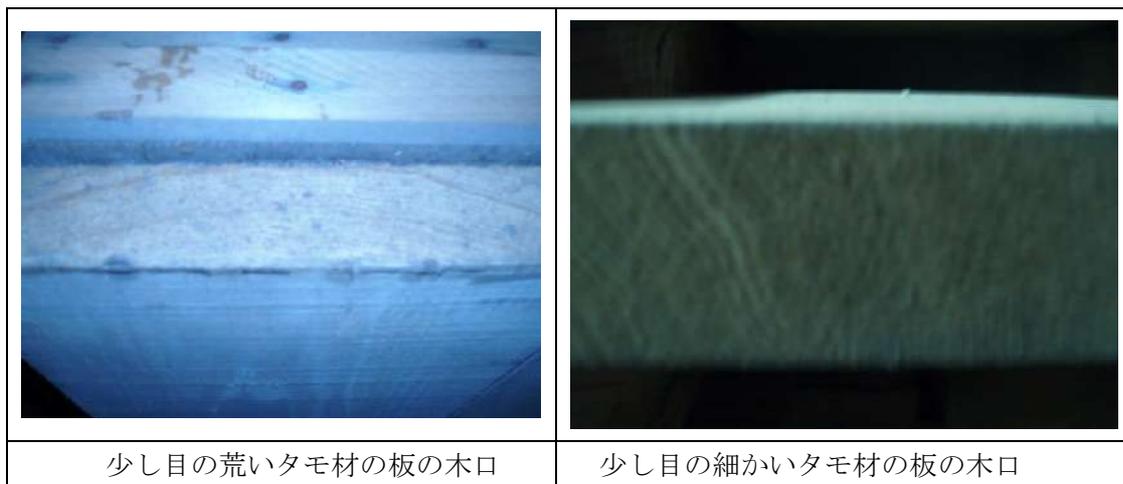
先月号で木材の品質の事を取り上げましたが、少し難しくて解りにくいと言う事を服部新聞の読者よりご指摘が有り、もう一度取り上げさせていただきます。

我々プロの木材業者が言う、木材の品質が良いというのは、私達は直ぐ解る事ですが、一般の方は少し難しいかもしれませんが、本当はごく簡単なのです。

下にその見方の簡単な方法をQ&A方式でご説明します。

- 1、 細い原木で製材した板よりある程度太い原木で製材した板の方が、材質が良い。

【板の木口を見てください。年輪が細かければ、まず太い原木で製材した板です。同じ板で年輪が細かい板は荒い板より狂いが少ないです。又目の細かい板は美しく見えます。】



ほんの少しの目の荒さが板の表情を大きく変えます。

- 2、 板の色を見てください。素人が見ても良い板は何かしかの好印象を与えます。

【白い材で有れば、抜けるように白い材は高品質です。】

右記の写真はスプリースの色の白い板です。乾燥した盤を挽き直しているために特に色が白く見えます。



- 3、 板を正面から見てください。板目の板の場合、木目が真ん中に来ている板が高品質です。

【カウンター等にご使用する場合木目が真ん中に来ていると美しく見えます。】

右記の材はタモ長さ2100ミリ  
厚み34ミリ、巾630ミリの材です。



4、手で触って下さい。例えば檜の板の良質材は、檜の板の低質材に比較して少し軽いです。

【軽いとは相対的な表現では有りますが、同じ長さで同じ巾、同じ厚みの檜材を比較すると高品質材は軽いです。】

5、板の表面を見て触って下さい。製材方法が良く、ざらつきが少ない板は良質材です。

【製材方法が良い板は、まず良質材です。板は乾燥すると多少縮みます。縮んでも良質材は厚みはきちっと有ります。最初から縮む分は少し厚く製材しています。】

以上が木材の品質を見る為の、最小限の知識です。木材知識の無い方も読んで頂いたら、少しは木材が身近に感じられると思います。又こう言う方法で木材と向き合って付き合ってくださいと素晴らしい木製品(建築物も含む)がそこそこの値段で手に入れられると思います。

下の写真は以上五項目ともクリアーしているタモ材の板です。



## 木材の品質についてプロはこうして見抜きます

プロの木材業者の木材の品質を見る為の方法を以下に簡単に書きます。

- 1、産地情報 樹種によって良い産地であるかどうかで、ある程度材質の良し悪しは解かります。
- 2、姿 輸入材の現地挽きの商品の場合、バンドリングが美しい材は大体品質も良いです。
- 3、売れ行き 市場で売れすぎている商品は品質が悪い時がある。仕分けがきつくなり品質の少し落ちる物を入れるケースがある。

木材業者は上記の三つの要素で大体の品質を見抜きます。確かに現物を自分の目で確かめる事が一番大事な事ですが、同時にこの三点はお客様に良い商品を提供する為の所謂『常識』です。木材業者の知識の一面をお披露目するのは、最初、正直抵抗感がありました。しかし我々プロの木材業者が想像するより遥かに、木材の価格が高騰し材質が悪くなってきている現状に直面したとき、何かしかのお知らせをしなければ、木材の良さを理解して頂けないと思い、そう言う思いからお知らせする事にしました。

# 大変嬉しいメールを頂きました

服部新聞を読んで頂いている東京の建築士さんから嬉しいメールを頂きました。大変嬉しかったので、自己満足かもしれませんが皆様に、是非見て頂きたいと思い、今月号で取り上げさせて頂きました。

服部商店 服部雅章様  
件名：服部新聞について  
差出人:yamaguchi

先：info@hattoriwood.co.jp

服部新聞をお送りいただきありがとうございます。

先日お電話いただいたようですが、不在で失礼致しました

また、これまで送っていただきっぱなしで返答もなく申し訳ありません。

いつも大変勉強させていただいています。

私も最近は出来るだけ無垢の木を使おうと思うようになりました。

新聞17号の記事にもありましたが、施主の良い家、悪い家の判断がメディア情報に影響されすぎているように私も思います。

例えば外断熱が流行り始めると、どの施主も外断熱の家がベストでそれ以外の家は劣っていると思ってしまいます。

私は建築というのは誰にとってもベストな1つの答えがあるとは思いません。同じものでも住まい方によって良くも悪くもなるもので、私が住宅を設計する時は、夏暑くない、冬寒くないというのがホントに快適なことなのかという議論から始めます。

私自身は高気密にして断熱材でくるんでしまうよりも、むしろ窓を大きく取って風通しを良く、陽が良く当たる方が気持ちいい家ではないかと考えています。高断熱を売りにするある住宅メーカーの建設中に家中ビニールでくるんでいるのを見た時はぞっとしました。

年中同じ気候で暮らすよりも、季節のメリハリがあるほうが自然ではないかという話をすると、大抵の施主は、なるほどそんな考えもあるのかと納得します。その上で機密性を高めるべきかどうかという話になると、それは施主毎に異なる答えとなりますし、出来る家は施主や設計者の個性が反映された、その都度異なるものになります。

敢えて言わせていただくと、木についても同様で、時にはコンクリートや石の床や壁のほうが快適な場合もあると思っています。

要は、我々専門家がきちんと情報を発信していくことが大事で、そういう点で服部さんのやっておられることには頭が下がります。

それから、新聞ですが、毎回郵送していただくのは手間も費用も大変なので、メールでお送りいただけるといかがでしょうか。

どういうソフトで作っておられるかわかりませんが、ワード、パワーポイント、エクセル等一般的なフォーマットなら読めると思います。

今後ともよろしくお願いします。

UDA山口勝之

私は木材のプロですが、建築士さん側から見ると家を建てる時は、一般ユーザーです。確かに木材に対しての知識は、一般の方よりはあります。しかし建築物となれば全くの素人です。家にふんだんに木材を使えば良い事は、材木屋の感性とか、経験では、解かるつもりをしています。しかし以前の服部新聞で取り上げましたが、幼稚園の建物の場合木材を使う場合使用制限が有ると、お世話になっている建築士さんから聞いたときは正直びっくりしました。又今回の建築基準法の改正にしても少しおかしいのではと考えております。

私は服部新聞を建築の情報交換の場所として利用させていただきたいと思っています。そして本当に日本人に合った家作りとは一体何かを皆様と一緒に考えていきましょう。

## 建築基準法改正と国民生活

先月号で取り上げた六月二十日に施行建築基準法の改正は、中小の建築関係の業者のみならず一般大衆の消費者にも多大の影響が出ています、と建築士さんからお聞きしました。建築の費用が上がるだけではなく、益々強い者が弱いものを虐める事にはなりはしないかと危惧されていました。その理由は、土地、資材の価格が上昇しています。そして追い討ちに建築の確認の費用が値上がりします。しかし東京圏を除けば、決して大阪をはじめ地方は景気回復の実感が無い。所得も増えていない。従ってマンション等の分譲住宅及び注文住宅もある程度売れる相場が現に存在し、その値段以上になるとそうそう簡単に売れない。そうすると大手のデベロッパーは下請けいじめを行う。しかし下請け業者は中間検査等の厳格化で決して手を抜けない。益々しんどくなる。そうすると木材を豊富に使える現場でも仕方が無くエンビ製品を使わざるを得ない。そして最終的に消費者の見えない負担に繋がる。そういう悪循環になるのではと仰っていました。(この建築基準法の改正でコストアップは避けられず、消費者は分譲住宅の多くの場合、木の形をした石油系の住宅部材を使った偽物の木の家を本物とごまかされて本物の木の家として購入してしまう最悪な結果にむすび付くのではないのでしょうか。)

**【エンビ製品は地球温暖化に繋がります。化石燃料を多く消費する住宅資材です。】**

私は今回の改正を違う角度から見ると、実質的に国の責任逃れ行為だと思います。耐震偽装問題が有り、法令順守は当たり前ですが、国の構造改革と言われる方針（ペーパーレス化・行政の簡素化）は一体どうなったと考えたら良いのでしょうか。

確かに我々にも責任はあります。例えば確認申請後に建築の中身（部屋の間取りの変更を届けなしにする行為）を故意に変更したりすることは、罰せられても仕方が無い事ですが、国民一億二千万人に周知徹底なしに、この法律を通し建築業者ばかりか、全ての国民に迷惑をかけた事は誰が責任を取るのでしょうか。

法律は国民を守るのが役目です。本当に国民生活を豊かにするのが法律ではないのでしょうか。私は、この法律の施行は、はなはだ問題が多く有ると思います。この法律で国民に今まで以上の負担をかけるのであれば、何らかの政策を実行して欲しいと思います。例えば建築確認費用の増大は国の責任逃れだから、今までより増えた費用は全額、住宅取得税より差し引くとかの事を実行してくれたら、辛抱しても良いのではと思います。**【この新聞を送っている、私が懇意にしている政治家の先生がいるので、あえて今回だけは政治色を付けた内容にしています。】**

## 無垢の木材は非常に温かい



上記の写真は大阪の阿倍野区昭和町の飲食店・八剣伝さんのタモ・カウンターと栓の看板（パーフェクトコート塗布済み）です。私は家族で食事に行きました。そこで感じたのは無垢の木材の温かみです。この温もりは人間の作ったエンビ商品では絶対に味わえません。

食べ物は、昨今中国からの輸入食材に農薬が大量に残っていて問題になっています。確かに人間の命に即関係しているから、もっとも大事な事とは思いますが。

しかし農薬の問題だけで良いのでしょうか。現在の日本人の望んでいる、健康に良い食材で作ったお料理を、無垢の木材を多く使った住環境で味わったら、もっともっと美味しく味わえるのではないのでしょうか。それが本当の食育に結びつくのではないのでしょうか。私はそれが本当の味わいのある温もりではないかと思っています。